



いわてキボウスター開拓塾中間報告会を実施しました



学生が起業家や企業経営者と交流しながら起業を学ぶ「いわてキボウスター開拓塾」の中間報告会を12月17日(土)、岩手県立大学マルチメディアラボで実施しました。学生たちは、開講から2カ月半の活動成果についてそれぞれプレゼンテーションを行い、これまでの取組を振り返りました。また当日はリーダー育成コンサルティングに携わる株式会社モリヤコンサルティング代表取締役 守屋智敬氏によりリーダーシップに関する講義が行われました。守屋氏の講義は起業家精神を学ぶ学生たちにとって、大きな刺激となったようで、学生たちは、活動の集大成となる2月17日の最終報告会に向け、報告会終了後も互いの報告内容について意見を交わしていました。

参加 学生の声

藤井 雄 聖
岩手県立大学
盛岡短期大学部
国際文化学科2年生

私はいわてキボウスター開拓塾(キボスタ)に参加している岩手県立大学盛岡短期大学部国際文化学科2年生、キボスタで唯一の短大生です。キボスタでは篤宿温泉・つなぎ温泉の8旅館で設立されたDMC新会社「いわてラボ」の業務提案というテーマのもとに活動しています。

私のチームは、岩手大・富士大・盛岡大・岩手県立大と4つの大学のメンバーで構成され、学部も興味の対象も当初バラバラでした。しかし今回の新会社設立に携わ

りたいという意志のもとに団結し、現場の声を聴くというフィールドワークから活動をスタートさせました。基礎的な知識や現場感覚のない私たちにとって、従業員の方々の声は衝撃的で、早速壁にぶち当たりましたが、チームメンバーがバラエティに富んだ顔ぶれだった為、様々な視点から従業員の方々の声を分析し、壁の打開を目標とした施策を考えることができました。

このテーマは、岩手だけでなく、日本全体が抱えている人手・人材不足・子育て世代へのサポートといった問題に真剣に向き合い、課題解決へ繋がるものだと思っています。この取組を面白いと思えたら、岩手全体を活力にあふれた地域にしていける筈

です。キボスタはその先頭に立ち、大学生の枠を超えて、岩手だけでなく日本を変えていく力強い人材を生み出す組織になると感じています。私はその第一期生としての誇りを持ち、テーマをまとめる最後の詰めの作業を行っていきます。



PBL型授業に関する意見交換会を開催しました

1月12日(木)、ふるさと創生協議会教育プログラム開発部会のFD(Faculty Development)事業の一環として、「PBL型授業に関する意見交換会」を開催しました。PBL(Problem/Project

Based Learning)の手法は、問題や課題を解決するための議論を通して、学生の主体的な学習を推進するために授業に取り入れられています。特に、地域の問題・課題の解決策を検討するには学生の主体的な取組や実践力の向上が求められます。本会では、岩手大学におけるPBL型授業のう



ち、COC+事業協働機関であるJA岩手県中央会と連携した授業を含む3件の実践例についてご紹介いただきました。コメンテーターとして、日本PBL研究所の理事でもある盛岡大学地域連携セン

ター長の市川洋子教授にご参加いただき、PBL型授業の設計、運営や学習効果などの課題について意見交換を行いました。今後も情報交換の場や、自治体、産業・経済団体、企業などとの連携の機会をもつことにより、地域と協働した教育を推進する一助となればと考えています。

島根地域と群馬地域のCOC+の取組を調査しました

ふるさといわて創造協議会には「ふるさといわて創造部会」と「教育プログラム開発部会」が設置され、様々な分野から活発な部会活動を展開しています。今回は、ふるさといわて創造部会が昨年12月11日(日)から13日(火)にかけて実施した島根地域と群馬地域の調査結果を報告します。

島根地域

島根地域は島根大学が幹事校となり、県立大学、同短大、松江高専の4高等教育機関に、自治体として島根県、参加企業等に県内のあらゆる経済産業団体、第3セクター、NPOが参加したオール島根の体制で取り組んでいます。特に特徴的な取組として「しまね大交流会」というイベントがあり、今回訪問した12月11日がまさに当日でした。県内企業や大学、NPO、自治体が230ものブースを出展し、650名以上の学生に高校生を含む1,500名以上の参加者



し、650名以上の学生に高校生を含む1,500名以上の参加者

がマッチングを行っていました。翌日には島根大学を訪問して取組の経緯や課題などを伺ったほか、インターシップ(IS)を実施している「ふるさと島根定住財団」を訪問し、県内外の学生を対象にしたISを実施している状況を知ることができました。写真はしまね大交流会の様子です(島根大学提供)。

群馬地域

群馬地域は共愛学園前橋国際大学が幹事校となり、高崎商科大学、上武大学及び明治学院大学、群馬県、前橋市、高崎市、伊勢崎市、富岡市、商工会議所連合会、中小企業家同友会、前橋商工会議所、群馬銀行、ジェイアイエヌなどが参加しています。この地域の最大の特徴は参加大学が全て私立大学であり、各々関係の深い自治体、企業としっかりとした連携関係を構築していることでした。ISでは4ヶ月以上の長期ISから企業の就職に直結する実践型IS、企業を取材してその結果をホームページに掲載する取材ISなど様々なISを実施しており、また、雇用創出関係ではジェイアイエヌの田中仁氏が設立した財団と連携して取り組んでいました。なお、学生に配布する就活ノートに企業の協賛広告を入れて学生に企業を知ってもらう取組なども行っていました。

春期インターンシップについて

東北インターンシップ推進コミュニティの岩手県内連携3大学(岩手大・岩手県立大・盛岡大)では、春休みのインターンシップを希望する学生や企業の声を受け今年度より春期のインターンシップを実施することとなりました。春のインターンシップのコーディネートが大学が行うのは初の試みとなります。県内の事業所18社が受け入れプログラムを用意し、1~2年生を中心にのべ13名の応募があり、全員のマッチングが決定しています。学生たちは春休み期間(2月~3月)に県内の各事業所で就業体験を行う予定です。また、この春県内各地では地域志向・実践型のインターンシップも実施されます。通常の1週間程度のインターン

■東北地域大学間連携 インターンシップ春期受け入れ企業

株式会社スズキ自販岩手
一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校
株式会社岩手ファーム
株式会社岩手日報社
社会福祉法人 悠和会 銀河の里
盛岡医療生活協同組合 川久保病院
盛岡愛媛病院
山人 -yamado-

シップよりも長い期間企業に入り込みプロジェクトを担う実践型インターンシップや、地域課題に本気で向き合うインターンシップなど、多様なインターンシップが展開されます。実施にあたって学生の理解を深めてもらうため、12月14日(水)に岩手県立大学、1月11日(水)に岩手大学で、インターンシッププログラムを企画するNPO法人wiz及びNPO法人SET、COC+教員による説明会を開催しました。

受け入れ先とのマッチングを経て、今期は岩手大学より3名、岩手県立大学より3名の参加が決まっています。



■地域志向・実践型のインターンシップ受け入れ先

受け入れ先(企画)
一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校(NPO法人wiz)
株式会社シオン(NPO法人wiz)
Change Maker Study Program
※陸前高田市広田半島で地域住民と共に
取り組む地域おこし実践プログラム(NPO法人SET)
唐丹町漁業協同組合×釜石ヒカリフーズ株式会社
×株式会社日立製作所(ふるさといわて創造部会 地域定着WG)

事業所見学ツアーについて

学生に地域企業について知ってもらい地元定着の促進につなげることを目的に、これまでCOC+事業としていくつかの事業所見学ツアーが企画・実施されています。今回は3つのツアーを紹介します。

岩手県立大学にてバスツアーを実施しました



岩手県立大学では、1月13日(金)に岩手県内の企業見学バスツアーを実施しました。このツアーは自分たちの住む地元でどのような企業があり、どのような事業を行っているのかを学生に知ってもらう機会として、企業・自治体の協力を得て企画したもので、就職活動を間近に控えた学部3年生、短大部1年生を中心に128名が参加しました。学部の特徴に応じて3コースが用意され、当日はコースごとに事業所を見学したのち、チームに分かれ、仕事のやりがいや難しさについて社員・職員との意見交換などを行いました。学生たちは熱心に質問をするなど職場の様子を実際に体験しながら地元企業についての理解を深めました。

■参加者 盛岡短期大学部/102名 ソフトウェア情報学部/16名
総合政策学部/10名 社会福祉学部/2名 【合計128名】

盛岡短期大学部コース

株式会社岩手ホテルアンドリゾート
株式会社日本ハウスホールディングス盛岡支店
岩手トヨタ自動車株式会社
盛岡ターミナルビル株式会社
矢町役場
東北ミサワホーム株式会社
株式会社ママ食品
滝沢市役所

株式会社アート不動産
イオンスーパーセンター株式会社
新岩手農業協同組合
株式会社キタカミデリカ
岩手中央農業協同組合
株式会社いんべクリーニング
いわて生活協同組合

ソフトウェア情報学部コース

株式会社新興製作所
横河電子機器株式会社
株式会社ミクニ盛岡事業所滝沢工場

総合政策学部コース

株式会社ジャパンセミコンダクター
東京エレクトロン東北株式会社

「技術に焦点を当てた企業見学会」を開催します

企業見学会実施日	見学コース
2月13日(月)	自動車産業関連企業
2月15日(水)	半導体関連企業
2月17日(金)	ものづくり産業

岩手大学では、いわて半導体関連産業集積促進協議会、岩手県と共同で理系学生に岩手県内の技術先端企業について知ってもらい、その後のインターンシップや就職活動に向けての意識を醸成することを目的に、3つの見学コースからなる「技術に焦点を当てた企業見学会」を開催します。今回の企業見学会は岩手大学の理系学生を主な対象として試行的に実施しますが、今後は対象者を本事業参加校の学生にも広げるとともに、対象分野についても理系だけでなく文系分野も含めて展開していくことを予定しています。

二戸市事業所見学バスツアーを実施します

本事業参加校の在学生全学年を対象に、岩手県、二戸市と共同で二戸地域を代表する事業所を回るバスツアーを2月24日(金)に実施します。定員は20名程度、当日は(株)小松製菓の新工場でオリエンテーション・ミーティングを行ったのち、(株)南部美人、(株)阿部繁孝商店及び二戸市役所を訪問します。このツアーを通して二戸地域や地元事業所への関心を高めてもらい、地元定着促進のきっかけになることが期待されます。

